

ヴェリタス学習会通信 100

予定表カレンダー →



令和7年7月の予定

- ・月曜日 7月7・14・21・28日 大安公民館1階研修室 18:30～21:00
- ・火曜日 7月1・15・22・29日 員弁老人福祉センター1階会議室3 18:00～20:30
8日 員弁老人福祉センター1階会議室2 18:00～20:30
- ・水曜日 7月2・9・16・23・30日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00
- ・木曜日 7月3・10・17・24日 北勢市民会館1階リハーサル室 18:30～21:00
31日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00

藤原文化センターは休止中です。水曜日はヴェリタス事務局で開会しています。

7月8日(火)は会議室3ではなく、広い会議室2です。

7月31日(木)は貸し切りなのか、北勢市民会館は部屋が空いていませんでした。ヴェリタス事務局で行います。



ヴェリタス事務局の所在地は、511-0261 いなべ市大安町丹生川上 650-1 です。

丹生川上集会所(旧丹生川上児童館・教育集会所)内です。

警報が出ている場合は休会にします。いつもその会場に来ている方にはLINE などでお知らせいたしますが、不安な場合はお問い合わせください。

連絡先

ヴェリタス学習会担当まつみやの携帯電話番号：090-7696-0189 (+メッセージも可能)

メールアドレス：npoveritas@gmail.com

LINE ID：m9s0bay (4文字目は数字のゼロです)

Facebook の「松宮 卓」に友達申請していただければ Messenger が使えます。

メールやLINE 登録をしていただいた方には、それを利用して休会連絡を行います。手数料削減協力のため、できる限りご登録ください。LINE を利用して、宿題等の画像を送ってくる子もいます。自分でできるところまでやって送ってもらうと、効果的な返信ができます。



Zoom などの会議ツールを利用しませんか



利用が広がっている Zoom クラウドミーティングや Skype, Facetime, Google Meet などを利用して学習しませんか。興味のある方は、ご相談ください。

(画像は生成したもので、実在の人物ではありません)

学習会通信 100号記念号



事務局とご家庭での学習のお手伝いを始めてから10年目に入りました。各町にある市の施設で学習会を定期的に始めてからは9年目です。

この学習会通信も、今回で100号になります。最初は次月の学習会の予定と連絡事項を書くのみでした。片面印刷のものでしたが、9号で表裏の両面印刷が登場します。それ以降で片面の号もありましたが、現在では両面印刷が定着しました。

記念号なので特別な企画をと思ったのですが、私の宿題も多く、いつも通りの分量で済ませます。

頑張ることに疲れたときのお薬『菜根譚』

アルバイトをしていた大学生時代、その勤め先で知り合った朝比奈さんに右の刻字板をもらいました。彼の作品です。七十歳代だったと思います。

明末期の洪自誠（ホンチーチャン）著『菜根譚』（シーゴンハン）の一条です。

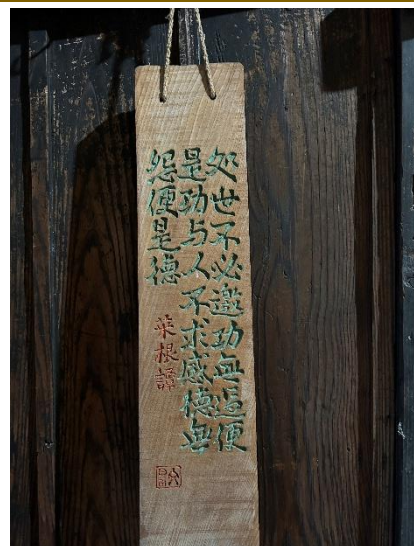
処世不必邀功 無過便是功 与人不求感徳 無怨便是徳

（書き下し文）

世に処しては必ずしも功を邀めざれ。過ちなきはすなわち是功なり。
人に与えては徳に感ずることを求めざれ。怨みなきはすなわち是徳なり。

（解釈）

世の中を生きていくうえで、名誉や賞賛を得たいと思う必要はない。
大きな間違いをしなければ、それが成功である。
他人に何か良いことをしたときに、感謝してほしいと思っはいけない。
その人に怨まれなければ、それがありがたい恩返しである。



書き下し文と解釈については、今井宇三郎著『菜根譚』岩波文庫と中村璋八・石川力山著『菜根譚』講談社学術文庫を参考にしました。書き下し文は両者で2か所異なっていましたが、1か所は前者。1か所は後者を採用しました。また、解釈は両者を参考にして、私の腑に落ちる文にしました。

洪自成について

洪自成の本名は洪応明といいます。自成というのは字で、昔の中国では成人式を迎えると関わりのある大人に字を付けてもらいます。公式な場や目上の人に出す手紙などでは、字を使います。ちなみに三国時代の諸葛孔明の孔明は字で、本名は亮です。

洪自成は儒学を学んだと思われませんが、道教や仏教にも造詣が深い様子がうかがえます。

菜根譚について



岩波文庫では前集二百二十二条、後集百三十五条、講談社学術文庫では前集は同じですが、後集は百三十四段としています。清朝本は五分類の三百八十四章と少し多くなっています。このようにさまざまな版がありますが、それぞれの段や章は短く、比較的理解しやすい内容の文が多いので、何か1冊手に入れて読んでみてください。同じ内容の章句もあるのですが、これからの人生に役立つ章句にいくつか出会うことでしょう。（条・段・章は、本により呼び名が違っただけで同じものです）